



東 俣 野 7月号

東俣野小学校 学校だより 平成30年6月29日

大切な命を守るために

副校長 宮崎 恵子

6月18日朝7時58分頃、大阪府北部を震源とする大きな地震が発生しました。最大震度6弱を記録したこの地震では、小学校プールのブロック塀が倒壊し、巻き込まれた小学4年生の女子児童が亡くなるという痛ましい事故も起きてしまいました。また、小学生の通学の見守り活動に向かう途中で被災し、亡くなった方もいらっしゃいました。朝のあいさつ運動に参加しようと交通ルールを守って登校していた小学生や、地域の子も達のためのボランティア活動に参加していた方が・・・と聞き、本当にショックで悲しい気持ちになりました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在、横浜市においても、校内や通学路に危険なブロック塀がないかをスクールゾーン対策協議会と協力して調査するように指示があり、本校でも危険箇所を調べています。また、6月25日（月）本校の「スクールゾーン対策協議会」が行われた際には、メンバーの皆様に通学路の危険箇所を調べていただくように協力をお願いしました。この「スクールゾーン対策協議会」は、PTA 校外委員会を中心に、地域や安全サポートの会の代表の方々、戸塚区役所、警察、土木事務所の方々などが集まり、子ども達が安全に登下校できるよう、危険箇所への対策、標識や看板の見直し、交通規制の強化などについて話し合うものです。普段はほとんどが交通安全に関する内容ですが、今回はやはり先日の地震が話題に上がり、大きな揺れによる危険箇所についても積極的な意見交換が行われました。みなさん、子ども達の安全のために、熱心に、真剣に考えてくださり、本当にありがたかったです。

また、今回の地震は登校中に被災した児童が多かったようです。学校でも授業中や休み時間など場面を変えて避難訓練を行っているのですが、登下校中の訓練はなかなかできません。登下校中は周囲に大人がいないこともあり、そんなときは自分自身で判断しなければなりません。学校でも、登下校中に大地震が起きた際の身の守り方について指導して参りますが、「もしも」のときはどう動いたらよいのか、普段から家族でもぜひ話し合っておきたいです。

私たちが住むこの地域にも、いつ大きな地震がやってくるかわかりません。たった一つしかない、大切な命を守るためにはどうすべきか、しっかり考え、備えていきたいものです。保護者や地域の皆様も、お気づきのことがありましたら、知らせていただくと大変ありがたいです。ご協力よろしくお願ひいたします。

SSW（スクールソーシャルワーカー）配置のお知らせ

本年度、大正中ブロックの小中学校に、SSW（スクールソーシャルワーカー）が配属されることになり、本校にも月に一日程度ですが、増田奈苗さんが来校されることになりました。SSWは学校現場でお子様がどんな援助を必要としているのかを知り、一人一人にとってより良い支援のありかたについて、教職員と一緒に考えて参ります。よろしくお願ひいたします。